

昭和 25 年

国勢調査報告

第一卷

人口総数

POPULATION CENSUS OF 1950

VOLUME I

TOTAL POPULATION

総理府統計局

Bureau of Statistics
Office of the Prime Minister

83461
615(50)k1
1

序 言

本報告書は、昭和二十五年十月一日に施行せられた昭和二十五年国勢調査の結果のうち、全国、都道府県、市町村別の人口総数に関する統計表を集録したものである。

昭和二十五年国勢調査は、統計法によつて行われた戦後最初の定期国勢調査であり、又一九五〇年世界センサスの一環として各国と歩調を合せ同じ国際的基準に則つて行われたセンサスでもあつた。更に調査技術の上でも、わが国としては新しい方法や考え方も種々とりいれられたのである。

調査は予定通り無事完了し、目下鋭意結果の集計を急いでいるが、ここに本調査の成果である最初の報告書を刊行する運びとなつた。これ偏えに調査関係者各位の努力の賜に外ならない。また連合国軍総司令部経済科学局企画統計部人口労働課特にエスター・ブラツグ夫人並びに小林金一氏には有益な助言をうけた。ここに厚く感謝の意を表する次第である。なお本局員で調査並びに本報告書の編成に主として従事したのは、人口部長総理府技官友安亮一、製表部長総理府事務官河原富造、前人口第一課長総理府技官松浦素、人口第一課長総理府技官中山照夫、製表第二課長総理府技官林壽、人口第一課総理府技官齊藤靖、同高富味津雄、同野崎清敏、同麓富夫、同戸塚倉夫、同山田光子、総理府事務官厚見明三、同川口良三、製表第二課総理府技官高田栄三、総理府事務官高基、同安藤幾美子である。

昭和二十五年国勢調査の結果は、本書を第一巻として引続き一〇%抽出集計結果、一〇%抽出集計結果、および悉皆集計結果を完成次第逐次刊行してゆく予定である。

昭和二十六年十一月

総理府統計局長 森 田 優 三